

## 協働事業 意見取りまとめシート (事業担当課:健康介護支援課)

事業名	一般介護予防事業	根拠法令・例規	介護保険法	形態	行政主導(委託)
事業目的	できるだけ住み慣れた地域で、その人らしく生活を送るために、健康寿命の延伸や介護を必要としない体づくりを目指した介護予防の取り組みを普及啓発することを目的としている。			パートナー	社会福祉協議会、市民(地域の集いリーダー等)

## 1 事業を始めるにあたって

## ① ・情報の公開・共有について

- ・一般介護予防事業については、香美市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に掲載しており、詳細の広報はチラシ、社協だより、社協 LINE、市の広報で周知啓発している。
- ・社協、包括の窓口や地域訪問でチラシを配布しお誘いしている。
- ・民生委員児童委員協議会で周知している。

## ② ・役割分担について

- 行政：委託先である社協との事業に関する協議、予算確保、広報周知活動  
 社協：事業運営、事業報告、広報制作・周知活動、自主グループ支援  
 市民(地域の集いリーダー等)：自主グループの運営、研修会への参加

## 2 現状認識

- (成果) R3 年度実績(参加延べ人数)は、①介護予防講座 504 名、②運動習慣づくり 2055 名、③生きがいづくり 652 名、④自主グループ支援 78 回(支援回数)となっている。  
 また、自主グループである地域の集いは、香美市全域で 57 か所あるが、コロナ禍の影響で休会中の集いも少なくない。現状で、土佐山田町、物部町においては高齢者人口の約 2%が、香北町は高齢者人口の約 5%が集いの場を活用している。
- (課題) ・コロナにより市民が集まることに抵抗感がある ・自主グループが活動できる場所が少ない、活動場所までの移動手段に困る ・地域の集いリーダーの担い手不足  
 ・前期高齢者(65~74 歳)の自主グループ参加が少ない

### 3 事業目的の達成に向けたフィードバック

事業開始時の改善点や現状の課題解決について

↓グループワーク時に使用

- ・地域の集いリーダーを対象にしたリーダー研修会を年1回開催し、取り組みや困りごとを共有し、リーダーの負担軽減に努める。
- ・コロナ禍で外出や活動を控えることの心身への影響や、感染に留意した介護予防活動に取り組むことの重要性など、正しい理解を促すための情報提供を行う。
- ・70歳の同窓会を開催し、早くから介護予防活動に取り組む重要性を周知する。

- ・情報の公開・共有について
- ・役割分担について
- ・その他

今後に向けて

↓グループワーク時に使用

- ・地域の病院や薬局と連携し、事業の周知啓発を行う。

- ・目的達成に向けて
- ・新たな可能性に向けて
- ・その他

### 4 その他